



平成 30 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社メルカリ  
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 山田 進太郎  
(コード番号：4385、東証マザーズ)  
問合せ先 執行役員 CFO 長澤 啓  
(TEL. 03-6804-6907)

### 通期連結業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 6 月期（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）の通期連結業績につきまして、前期実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. 平成 30 年 6 月期（通期）連結業績と前期実績値の差異

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 連結当期純利益
前期実績 (A) (平成 29 年 6 月期)	百万円 22,071	百万円 △2,775	百万円 △2,779	百万円 △4,207	円 銭 △36.65
前回発表予想 (B)	35,800	—	—	—	—
当期実績 (C) (平成 30 年 6 月期)	35,765	△4,422	△4,741	△7,041	△60.61
増 減 額 (C-A)	13,693	△1,646	△1,962	△2,834	—
増 減 率 (%)	62.0%	—	—	—	—
増 減 額 (C-B)	△34	—	—	—	—
増 減 率 (%)	△0.1%	—	—	—	—

#### 2. 差異の理由

連結売上高に関しては、日本国内における「メルカリ」の安定的かつ継続的な成長のもと、概ね予想どおりに推移いたしました。

一方、連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、日本国内における「メルカリ」は継続的な成長フェーズにあるものの、海外事業や国内における新規事業は投資フェーズにあり、サービス開発組織の強化による人員の増加や効果的なブランド認知の構築や利用を促す積極的な広告宣伝等に費用を要したため、前期実績を下回る結果となりました。

以 上